

[成果情報名] 白竜湖における魚類相

[要 約] 白竜湖で魚類相の調査を行い 16 種を確認し、オオクチバス以外の再生産が確認された。絶滅が危惧されたメダカが再発見され、特定外来魚のオオクチバスが確認された。

[部 署] 山形県内水面水産試験場・資源調査部

[連絡先] TEL 0238-38-3214

[成果区分] 政

[キーワード] 白竜湖、魚類相

---

### [背景・ねらい]

山形県南部に位置する白竜湖は、県の天然記念物となっている。白竜湖周辺の魚類相は昭和 51 年と平成 9 年に調査されているが、その後は行われていない。平成 27 年に南陽市教育委員会から白竜湖周辺の学術調査の一環で魚類相に関する調査依頼があり、平成 28 年に現地調査を行った。

### [成果の内容・特徴]

1. 各魚種の再生産を稚魚(0 歳魚)の存在で確認するために、稚魚が成長して採捕しやすくなる秋季の平成 28 年 10 月 7 日に調査を行った。白竜湖と周辺の水路において、電気ショッカー、投網、籠トラップ、刺し網で魚類を採捕した(図 1)。現地で同定と全長を計測し、現地で同定できない魚種や小型魚の一部を 10%ホルマリンで固定して持ち帰った。採集した個体のうち特定外来魚を殺処分し、それ以外を全て放流した。
2. 採集された魚種は 16 種であった(表 1)。オオクチバスを除き全ての魚種で稚魚または小型魚が確認されており、再生産していることが確認された。国内移入種のゲンゴロウブナやオイカワが多くみられた。
3. 過去の調査では確認されなかったキンブナと疑われる個体が 2 尾採捕された。
4. 白竜湖は平成 16 年 6 月、山形県内で初めて KHV が発生した水域であり、この時にコイの個体数が激減した可能性がある。今回の調査では少数だが稚魚が確認されており、再生産で個体群は維持されていると考えられた。
5. 平成 9 年には確認されなかったメダカが東側排水路で再発見された。ここは耕作放棄地が湿原と化した場所で素掘りの水路が残されており、水路と耕作放棄地が分断されていない。増水時には耕作放棄地も冠水して水路と繋がる。このようなメダカの繁殖に適した場所が残されたことにより、個体群が存続したと考えられる。
6. 昭和 51 年と平成 9 年には確認されなかったオオクチバスが確認された。全長 149~229mm だが、小型の個体は 0 歳の可能性がある。しかし採集された場所が湖内ではなく、最上川本流と繋がった横堀排水路であったため、採集個体の由来が白竜湖付近か他の河川産かは不明である。
7. 昭和 51 年の調査で記載されたが平成 9 年には記載が無かったウナギ、カジカ、ヤリタナゴは確認されなかった。

### [成果の活用面・留意点]

1. 採集したヨシノボリ類の種類、フナ類のサンプルを同定中。
2. 今回はアブラハヤの生息に適した水路の上流域では調査を行っていない。アブラハヤの生息については再度確認する必要がある。
3. 白竜湖は漁業権がなく、平成 29 年 6 月からの山形県内水面漁場管理委員会指示によるバス類の再放流禁止の対象外である。白竜湖周辺におけるバス類の増加を防ぐために、釣り人への啓発や、湖からの放水の際にはバス類の散逸を防ぐ施策が必要と考えられる。しかし増水で湖と水路が繋がることがあるため、散逸(または侵入)を防ぐのは難しいかもしれない。

[具体的なデータ]

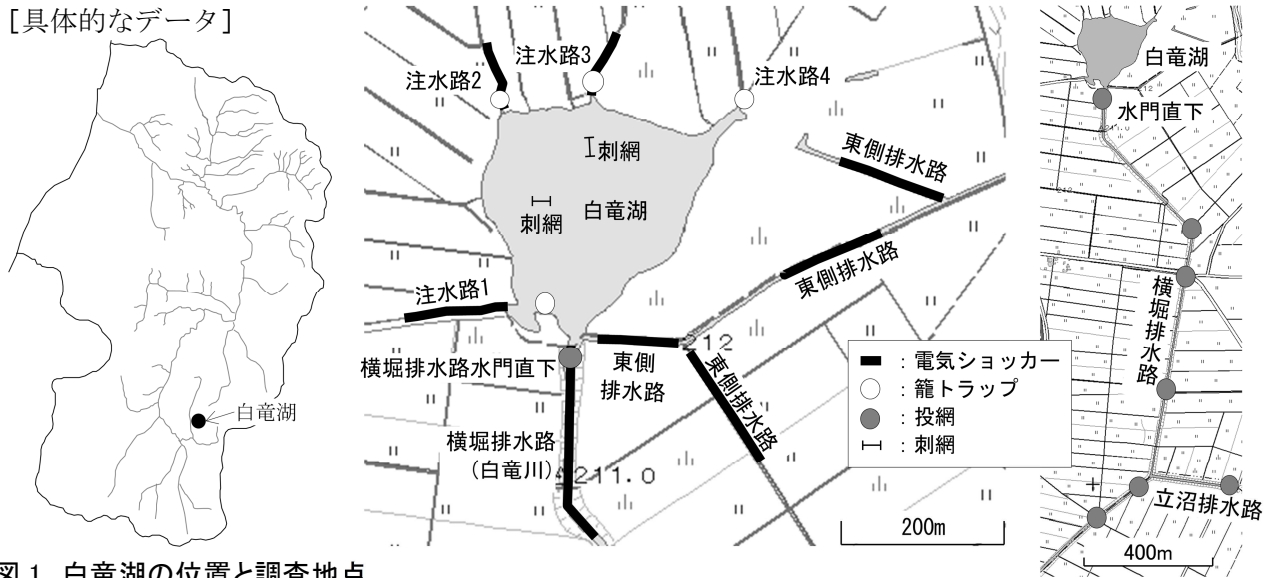


図1 白竜湖の位置と調査地点

表1 平成28年10月7日に各調査地点で採捕された魚種と個体数

魚種	採捕数	過去の調査	
		昭和51年	平成9年
ウナギ	0	○	
オイカワ	97	○	○
アブラハヤ	0	○	○
タモロコ	90	○	○
モツゴ	60	○	○
カマツカ	5	○	○
ニゴイ	6	○	○
コイ	30	○	○
キンブナ(?)	2		
ギンブナ	12	○	○
ゲンゴロウブナ	125	○	○
フナ類未同定魚	174	○	○
ヤリタナゴ	0	○	
タイリクバラタナゴ	23	○	○
ドジョウ	9	○	○
ナマズ	1	○	○
メダカ	1	○	
カムルチー	3	○	○
オオクチバス	5		
ヨシノボリ類	9	○	○
カジカ	0	○	

←(訂正) 表にアブラハヤを追加

←(訂正) 「- : 採捕なし + : 目視で確認されたが採捕できなかった。」の一行を削除。

フナ類未同定魚は、同定のために持ち帰った個体のうち、1月5日までに同定できなかった個体数。  
○ : 過去の調査で確認された魚種

[その他]

研究課題名：増養殖技術指導

予算区分：県単

研究期間：平成28年（平成25～29年度）

研究担当者：荒木康男

発表論文等：白竜湖調査報告書（平成29年発行予定）